

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年3月31日

事業所名 リックラボ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		十分な訓練スペースの確保ができています。	個別での対応ができる場所の確保をしていく。
	2	職員の配置数は適切である	2	2	利用児に対して適切な人員確保ができています。	情報を求められる保護者様に対しては開示していく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	1	3	生活空間は児童にわかりやすく構造化されている。バリアフリー化は身体障害者、車椅子の児童がいないためされていない。	今後身体障害児や車椅子児童が利用する際に備え、バリアフリー化を検討していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4		毎日の清掃を通して清潔に保っている。活動に合わせた空間作りにも努めている。	今後も毎日の清掃を行い、清潔に保ちながら児童の活動に合わせた空間作りをしていく。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4		毎日職員会議を行いながら振り返りができている。	今後も引き続き行なっていく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		前年度から実施し、保護者の意向を把握し、業務改善に努めている。	今後も定期的にアンケートを実施して業務改善に取り組む。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4		自己評価を行い、HPで公開している。	今後もアンケート結果をホームページなどで発信していく。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1	他事業所からのアドバイスを取り入れ業務改善に努めている。	外部からの評価を検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		毎月1回以上研修の機会を設けている。	今後も引き続き研修の機会を設けていく。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4		アセスメントを適切にした上で放児童発達支援計画を作成している。	今後も引き続き行なっていく。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4		アセスメントシートを作成し、統一した評価でアセスメントを行っている。	質の高いアセスメントのためにツールの改善をしていく。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4		児童発達支援計画には児童発達支援ガイドラインに沿った個々の児童の課題が設定されており、具体的な支援内容が記載されている。	今後も継続してガイドラインに沿った児童の課題を設定し記載していく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4		個々の児童発達支援計画に沿った支援が提供されている。	今後も児童発達支援計画に沿った支援に努める。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		活動プログラムの立案を職員で話し合いながら行っている。	今後も引き続き行なっていく。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		子供達が飽きないようにプログラムを組み立てている。	今後も子供達が飽きないようなプログラムを組み立てていく。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	4		組み合わせながら作成ができています。	集団に参加できない児童の支援をより充実させていく。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		児童の来所前に職員間で打ち合わせ、支援の内容など確認できている。	今後も打ち合わせをしていき、質の高い支援を心がけていく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		児童が帰所後に職員間で振り返りができている。	今後も引き続き行なっていく。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		児童発達支援計画に基づき記録をとることができている。	今後も計画に基づいた記録を心がけていく。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4		半年に一回保護者とモニタリングを行い見直しをしている。	保護者の希望がある際には期間などに関わらず、支援計画の見直しを検討していく。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		サービス担当者会議には児童の状況に精通した職員が参画できている。その職員が参画できない際には事前に情報共有をし別の職員が参画している。	今後もその児童の状況に精通した相応しい者の参画に努める。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	1	児童の相談員を通して連携した支援を行っている。	今後も児童の相談員を通し、連携した支援を行う。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		4	医療ケアが必要な児童がいないが、利用児童が通っているOTやSTの動向を通して連携体制を整えている。	医療ケアが必要な児童が通所した際の連携体制を整えていく。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		4	医療ケアの必要な児童がいない。	医療ケア児の受け入れの際に連携ができるように努めていく。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		幼稚園、保育園、認定子ども園との情報共有をし、相互理解に努めている。	今後も情報共有をし、相互理解に努める。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		小学校や支援学校との情報共有をし、相互理解に努めている。	今後も小学校や支援学校との情報共有をし相互理解に努める。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4		研修に参加している。	今後も研修に参加していく。必要であれば連携もできるように努める。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	3	コロナ禍でできていない。	地域だけでなく、保育所や認定こども園との交流ができるように努める。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	2	地域で行われている協議会へ参加している。	今後も引き続き参加をしていく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		送迎時の引き継ぎ、電話やメール、LINEなどを通して児童の状況、課題などについて共有理解ができている。	今後も引き続き行なっていく。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている		4	個別での助言しか行っていない。	ペアレントトレーニングのための研修などを行なっていく。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		契約時に丁寧な説明を行なっている。	今後も引き続き行なっていく。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4		作成した児童発達支援計画を保護者様に確認してもらい、支援内容を説明し同意を得ている。	今後も保護者様に確認してもらいながら同意を得ていく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		児童への関わりや家族での相談に応じて一緒に考え助言を行っている。	今後も引き続き行なっていく。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	1	行事を通して保護者の交流の場を設けている。	今後も保護者参加の行事提案をし、交流の場を設ける。また、オンラインでの取り組みなど検討していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4		保護者の仕事の都合に合わせながら受け入れ時間の変更や申入れについて対応している。	今後も引き続き行なっていく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	1	活動概要、行事予定など発信できていない。	ホームページ作成、会報の発行を検討していく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4		鍵付きキャビネットで個人情報ファイルを管理している。	今後も引き続き行なっていく。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		児童に対しては写真やイラストの提示をし、保護者様に対しても口頭での説明、文章での通達をし配慮している。	今後も引き続き行なっていく。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	3	1	地域の事業所での合同の行事の際に地域住民を招待している。	今後も行事に地域住民を招待することができるよう努める。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	1	マニュアルを作成し、緊急時の対策に取り組んでいる。	作成したマニュアルを保護者様にも周知してもらえるように努める。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	1	定期的に避難訓練をしている。	今後も引き続き行なっていく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3	1	サービスが始まる前に保護者に確認し対応している。	今後も継続して確認し対応していく。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1	医師からの指示書に基づくアレルギーがある児童がいない。	今後はアレルギーがある児童の通所がある際には医師の指示書に基づく対応をしていく。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		4	実際に起こったケース、想定される事例をもとに会議で共有を行なっている。	今後も起こったケースを事業所内で共有していく。また、事例集の作成に努める。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		定期的に虐待防止研修を受けている。	今後も引き続き行なっていく。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4		現在身体拘束が想定される児童がいない。	身体拘束が想定される児童に対しては支援計画にも記載していく。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。